ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成30（2018）年
6月30日発行
第10号

夢のふくらむ学校

今日も走っています。

３９階からマンハッタンを遠くに臨みながら、ジムのトレッドミルで汗を流しています。今日は、風の具合なのか、飛行機の旋回や着陸コースにはなっていないようで、機体が見えません。イヤホンでお気に入りの音楽を聴きながら、そして景色を見ながら走るというのは、いろいろなことを考えるためでもあります。いいアイディアがわくこともあります。「今度の研究授業や研修会での指導助言」「補習校運営のアイディア」「補習校だより　絆のアイディア」等々。今週はやはりこの話からでしょう。

私の勤務校があった富山県富山市で、交番の警察官が襲撃され拳銃が強奪されました。その直後、近くの小学校の構内で発砲があり、耐震化工事作業のための警備員の方と先の警察官の二人の方が亡くなられるという痛ましい事件が発生しました。事件のあった地域は、新幹線富山駅北側の商業地域と住宅密集地で、事件のあった小学校は全校児童５００人を超える伝統のある学校です。警察から刃物を持った逃走犯についての連絡があり、校長先生（私のよく存じ上げている方です）の指示で、出入り口を完全施錠するとともに全員が体育館に避難しました。「先生方は、みんなをしっかり守ります」と、子どもの不安を和らげる配慮も忘れません。同時に、若手教員がさすまたや箒で１階の校舎廊下で警戒に当たりました。（その時点で、拳銃を持っての逃走という連絡がなかったそうです）幸いにも、児童、教職員には何も被害が出なかったのですが、改めて日頃から危機意識をもって、学校運営に臨むことの大切さを感じました。

今年度W校でも不審者対応の避難訓練「ロックダウン」を行ったところです。不審者侵入を告げる非常通報コード（合い言葉）の放送があったら、すぐに教室の内鍵を掛け、消灯して、外から見えないところに隠れて、警察が来るのを待つ、という訓練です。アメリカでは、学校での発砲事件が頻発しているので、本校としても非常に大切な訓練ととらえています。W校の訓練では、地元の警察署の視察を仰ぎ、専門家の目でロックダウンを評価していただきました。そのことを生かし、ＬＩ校は、後期にロックダウンの訓練を行う予定です。



消灯して隅の方に隠れます。



ロシアで開催されているサッカーワールドカップも予選が終了し、侍ジャパンが２大会ぶりに決勝トーナメント進出を果たしました。予選最後の日本対ポーランド戦は、日本では夜遅い時間帯だったにもかかわらずテレビの視聴率が５０％近くあったそうです。試合は０－１で負けましたが、同じくコロンビアに負けたセネガルに警告数の少なさで勝り、見事グループステージを突破しました。しかし、ゲーム後半に選手が引いて守りに徹するといういわゆる他力本願の勝ち方については、賛否両論が出ています。ドーハの悲劇を知るものにとって、戦術としては納得のいくものでしたが、皆さんはどうお感じになられたでしょうか。

第３９回海外子女文芸作品コンクールに多数ご参加いただきありがとうございました！

今週、皆さんの力作を一括して日本に送付いたしました。お寄せいただいた作品の内訳は、作文４２点、詩２２点、短歌２０２点、俳句３４７点でした。審査結果の発表は１１月の予定です。ご協力ありがとうございました。